

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

| | | | |
|------|-----|-----|-------|
| 整理番号 | 2-① | 課 名 | 農林水産課 |
|------|-----|-----|-------|

| | | | |
|-------------|---------------------|-----------------|------------|
| 戦略分類 | 2. 若者仕事 | | |
| 取組の方向 | 本町ならではの農林水産業の支援と活性化 | | |
| 戦略事業名 | ①一次産業スタート支援事業 | | |
| 予算事業名 | 一次産業スタート支援事業 | | |
| 令和5年度実績額(円) | 3,778,921円 | 令和6年度予算額(6月補正後) | 4,459,000円 |

| | | | |
|---------|---|---|---|
| 事業概要・実績 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| | <p>【就農総合支援事業補助】 町内で一次産業に新規就業された方を対象に、家賃及び研修に係る費用の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者住宅確保支援事業補助金 1人 270,000円 新規就農者研修支援事業補助金 1人 480,000円 | <p>【就農総合支援事業補助】 町内で一次産業に新規就業された方を対象に、家賃及び研修に係る費用の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者住宅確保支援事業補助金 1人 270,000円 新規就農者研修支援事業補助金 1人 480,000円 | <p>【就農総合支援事業補助】 町内で一次産業に新規就業された方を対象に、家賃及び研修に係る費用の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者住宅確保支援事業補助金 該当者なし 新規就農者研修支援事業補助金 1人 480,000円 |
| | 令和5年度 | 令和6年度(予定している内容) | |
| | <p>【就農総合支援事業補助】 町内で一次産業に新規就業された方を対象に、家賃及び研修に係る費用の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者住宅確保支援事業補助金 該当者なし 新規就農者研修支援事業補助金 1人 480,000円 | <p>【就農総合支援事業補助】 町内で一次産業に新規就業された方を対象に、家賃及び研修に係る費用の補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者住宅確保支援事業補助金 0人 0円 新規就農者研修支援事業補助金 40,000円×6ヵ月×1人＝ 240,000円 | |



| 評 価 (Check) | | | | | | |
|--|---|-------|---|--------|--------|------------|
| 成果を測る指標 (KPI・数値目標) | 新規就業者数 | | ⇒ | 現 状 | | KPI達成率 (%) |
| | 基準値 (平成30年度) | 累計3人 | | 令和5年度末 | 累計9人 | 90.0% |
| | 目標値 (令和6年度末) | 累計10人 | | | | |
| ① 数値目標達成状況 | | | | | おおむね達成 | |
| 達成状況の要因分析 | 令和5年度において、1人の新規就業者があったため、これまでの累計で9人となり、数値目標は概ね達成することができた。 | | | | | |
| ② 事業成果 | | | | | | |
| 令和5年度の成果・課題 | 新規就農者研修支援事業補助金を活用し、令和4年度から研修を受講されていた1人が、令和5年度に就農された。 しかし、令和5年度においては、体験事業に関する問い合わせはあったものの、相手方の事情により体験事業実施までには至らなかったことなどにより、その他に就農総合支援事業補助金を活用される方はなかった。 | | | | | |
| 戦略期間全体を通しての成果・課題 | 農林水産省がまとめた2022年の新規就農者は、全国で4万5840人と前年から12%減少、統計データのある06年以降最小となっている。 また、その主な要因として、新規就農の大部分を占める実家の農業に従事する親元就農者は前年比15%減となり、定年延長など65歳までの雇用確保を企業に義務づけた影響により、減少幅が最も大きかったとされている。 成果指標は、概ね達成されたものの、特に果樹農業における新規就農の場合、定植から収穫までの未収益期間が長いこと、さらに新規事業者を増やしていくためには、初期コストの負担軽減を検討することが必要であると考えます。 | | | | | |
| ③ 令和7年度以降の事業継続予定 | | | | | 継続予定あり | |
| (継続予定ありの場合) 今後の方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・現行補助制度の周知強化 ・新たな補助制度の創設を検討 | | | | | |
| ④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価) | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・R5年度においても本事業を活用した研修生1名が新たに就農しており、KPIをほぼ達成するなど、事業は一定の成果を挙げたと言える。 ・事業継続を検討するに当たっては、初期コストなどの就農を困難にしている原因を解消したり、新規就農者の追跡調査を行って就農後もフォローするなど、農業を始めやすく続けやすくする方策の検討が必要である。 | | | | | | |
| 外部評価の結果 | | | | | | |
| 意見等なし | | | | | | |

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

| | | | |
|------|-----|----|-------|
| 整理番号 | 2-② | 課名 | 農林水産課 |
|------|-----|----|-------|

| | | | |
|-------------|---------------------|-----------------|------------|
| 戦略分類 | 2. 若者仕事 | | |
| 取組の方向 | 本町ならではの農林水産業の支援と活性化 | | |
| 戦略事業名 | ②「お～い★さかな君」発掘・育成事業 | | |
| 予算事業名 | 「お～い★さかな君」発掘・育成支援事業 | | |
| 令和5年度実績額(円) | 766,790円 | 令和6年度予算額(6月補正後) | 1,125,000円 |

| 事業概要・実績 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---------|---|--|---|
| | 漁業従事者への支援、新規就漁者の募集 | ①ふくい水産カレッジ入校者への助成 ・受講費(負担額の2分の1) 2人(10月入校) 750,000円 ・交通費(負担額の2分の1) 2人(福井市等) 5,730円 ②水産関係の地域おこし協力隊や移住募集 1人(H30年度から継続) | ①ふくい水産カレッジ入校者への助成 ・受講費(負担額の2分の1) 2人(R2から継続) 750,000円 ・交通費(負担額の2分の1) 2人(福井市等) 6,180円 ②新規就漁者への家賃補助 (家賃の2分の1、上限月額53,000円) 1人 275,000円 |
| | 令和5年度 | 令和6年度(予定している内容) | |
| | 漁業従事者への支援、新規就漁者の募集 ①ふくい水産カレッジ入校者への助成 ・受講費(負担額の2分の1) 2人(R4から継続) 750,000円 ・交通費(負担額の2分の1) 2人(福井市等) 5,690円 ②新規就漁者への家賃補助 (家賃の2分の1、上限月額53,000円) 該当者なし | 漁業従事者への支援、新規就漁者の募集 ①ふくい水産カレッジ入校者への助成 ・受講費(負担額の2分の1) $1,500,000円 \times 1/2 \times 1人 = 750,000円$ ・交通費(負担額の2分の1) $7,800円(福井市) \times 12回 \times 1/2 = 46,800円$ ②新規就漁者への家賃補助 (家賃の2分の1、上限月額53,000円) $53,000円 \times 12カ月 \times 1人 \times 1/2 = 318,000円$ | |



| 評 価 (Check) | | | | | | |
|---|---|-------|---|--------|--------|------------|
| 成果を測る指標 (KPI・数値目標) | 新規就業者数 | | ⇒ | 現 状 | | KPI達成率 (%) |
| | 基準値 (平成30年度) | 累計3人 | | 令和5年度末 | 累計10人 | 100.0% |
| | 目標値 (令和6年度末) | 累計10人 | | | | |
| ① 数値目標達成状況 | | | | | 達成 | |
| 達成状況の要因分析 | 令和5年9月に、ふくい水産カレッジを卒業した2人がそれぞれ町内で就業したことにより、新規就業者数の累計が10人となり、目標を達成することができた。 | | | | | |
| ② 事業成果 | | | | | | |
| 令和5年度の成果・課題 | 令和4年10月からふくい水産カレッジに入校している2人に対して、引き続き受講費等の支援を行った。 令和5年度については、入校希望者はあったものの、遊漁船業への就業希望者であったため、該当する研修コースがなく、入校には至らなかった。 今後においても、漁業就業支援フェアに参加するなどにより、積極的な情報・魅力発信に努め、県外からの新規就漁者や地元からの新規就漁を希望する若者に対しての就業支援を行っていききたい。 | | | | | |
| 戦略期間全体を通しての成果・課題 | 常に、大島漁業協同組合と水産カレッジへの入校希望者等の情報共有を図ることにより、新規就業希望者に対して適宜支援を行うことができたため、目標としていた10人の新規就業者数を達成することができた。 しかし、新規就業者10人の内、県外者は2人とどまっているため、今後とも、あらゆる機会を通じて、町外の若者に対してのプロモーション活動を行っていく必要がある。 | | | | | |
| ③ 令和7年度以降の事業継続予定 | | | | | 継続予定あり | |
| (継続予定ありの場合) 今後の方針 | 数値目標は達成したため、未来創生戦略としての取り組みは終了とするが、漁業の持続可能な発展のため、町の補助事業としては、今後においても新規就業者等への支援を継続していきたい。 | | | | | |
| ④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価) | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新規就漁者を目標数獲得できたのは、大島漁業協同組合と連携して水産カレッジ入校者に本事業による支援を行ったなど、関係機関との連携も効果的だったと評価できる。 ・事業継続を検討するに当たっては、引き続き、「若狭ぐじ」などの特産品・観光資源を供給する重要産業である漁業の担い手確保のための支援策が必要である。 | | | | | | |

| 外部評価の結果 |
|---------|
| 意見等なし |

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

| | | | |
|------|-----|----|-------|
| 整理番号 | 2-③ | 課名 | 商工観光課 |
|------|-----|----|-------|

| | | | |
|-------------|---------------------|-----------------|------------|
| 戦略分類 | 2. 若者仕事 | | |
| 取組の方向 | 本町ならではの農林水産業の支援と活性化 | | |
| 戦略事業名 | ③特産品開発・販売促進支援事業 | | |
| 予算事業名 | 特産品開発・販売促進支援事業 | | |
| 令和5年度実績額(円) | 1,780,793円 | 令和6年度予算額(6月補正後) | 2,314,000円 |

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | |
|---------|--|--|---|--|
| 事業概要・実績 | <p>地元産品を活用した特産品の開発や改良経費、商談会への参加を支援し販路拡大や新たな商品開発を進める。</p> <p>商品開発改良支援 4件 ・牡蠣殻そうじ機導入支援 ・低温貯蔵庫導入支援 ・贈答容器作成支援 ・しいたけシール作成支援</p> <p>イベント参加及び商談会等の販売促進活動 1回 ・越前・若狭紅白味自慢2020への出店、PR</p> | <p>地元産品を活用した特産品の開発や改良経費、商談会への参加を支援し販路拡大や新たな商品開発を進める。</p> <p>商品開発改良支援 5件 ・島ジャコ天商品パッケージ作成支援 ・越前かに贈答用箱作成支援 ・お～いの魚屋暖簾・のぼり作成支援 ・ふくいサーモンPRパネル作成支援 ・さぶりの里山のお米袋等作成支援 機械装置等取得 3件 ・うろこ取り機導入支援 ・穀類害虫駆除機導入支援 ・ジビエ用真空包装機・冷凍庫導入支援</p> <p>イベント参加及び商談会等の販売促進活動 1回 ・シーフードショー東京の視察</p> | <p>地元産品を活用した特産品の開発や改良経費、商談会への参加を支援し販路拡大や新たな商品開発を進める。</p> <p>商品開発改良支援 1件 ・梅販売促進ポロシャツ、ラベルシール、容器等導入支援 機械装置等取得 2件 ・じねんじょ専用おろし導入支援 ・梅用フードプロセッサ―導入支援</p> <p>イベント参加及び商談会等の販売促進活動 2回 ・みなとオアシスSea級グルメ全国大会n八幡浜港 ・シーフードショー大阪</p> | |
| | | 令和5年度 | 令和6年度(予定している内容) | |
| | | <p>地元産品を活用した特産品の開発や改良経費、商談会への参加を支援し販路拡大や新たな商品開発を進める。</p> <p>商品開発改良支援 3件 ・イラスト入りレジバック、商品ロゴデザイン料、のぼり、ポール等商品販促支援 機械装置等取得 4件 ・卓上真空包装機導入支援、電子ジャー炊飯器、キャッシュボックス、カセットコンロ導入支援、粉碎機導入支援、加熱蒸散式害虫駆除機導入支援</p> <p>・みなとオアシスSea級グルメ全国大会n沼津 ・シーフードショー大阪 ・山の恵みマルシェinアリオ北砂店 ・飛騨産直市そやな出向販売</p> | <p>地元産品を活用した特産品の開発や改良経費、商談会への参加を支援し販路拡大や新たな商品開発を進める。</p> <p>商品開発改良等 4件 機械装置等取得 2件</p> <p>イベント参加及び商談会等の販売促進活動 3回</p> | |



| 評 価 (Check) | | | | | | |
|---|--|------|---|--------|--------|------------|
| 成果を測る指標 (KPI・数値目標) | 商品開発数 | | ⇒ | 現 状 | | KPI達成率 (%) |
| | 基準値 (平成30年度) | 累計3件 | | 令和5年度末 | 累計9件 | 100.0% |
| | 目標値 (令和6年度末) | 累計9件 | | | | |
| ① 数値目標達成状況 | | | | | 達成 | |
| 達成状況の要因分析 | <p>特産品開発・販売促進等支援事業補助金を活用した商品の改良や機械装置導入等により、特産品の魅力向上、生産の効率化を進め生産者等の意欲を高める必要がある。 販売促進活動はコロナ前の状況に戻っており、早めの広報活動や効果的な商談等が必要となる。</p> | | | | | |
| ② 事業成果 | | | | | | |
| 令和5年度の成果・課題 | <p>令和5年度の新商品開発の成果は、株おおいが「しいたけチップス」の販売を開始した。各種生産団体や第3セクターが商品開発に取り組む意欲を後押しする制度の継続が重要と思われる。</p> | | | | | |
| 戦略期間全体を通しての成果・課題 | <p>各種生産団体や第3セクターの努力もあり、特産品の商品開発は確実に増加している。開発された商品の販売、流通を拡大していくための取り組み、支援が重要である。</p> | | | | | |
| ③ 令和7年度以降の事業継続予定 | | | | | 継続予定あり | |
| (継続予定ありの場合) 今後の方針 | <p>特産品開発や販売促進に対する支援は、継続的に行うことにより効果が表れるため、引き続き町と生産者が連携・協力していく。</p> | | | | | |
| ④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価) | | | | | | |
| <p>・R5年度は新たな商品開発が1件あり、KPIを達成するなど、事業として成果を挙げたと評価できる。 ・事業継続を検討するに当たっては、関係機関とも連携して販売促進に取り組むなど、これまで開発された商品の販売・流通を拡大していくための方策について検討が必要である。</p> | | | | | | |

| 外部評価の結果 |
|---------|
| 意見等なし |

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

| | | | |
|------|-----|----|-------|
| 整理番号 | 2-④ | 課名 | 商工観光課 |
|------|-----|----|-------|

| | | | |
|-------------|---------------------|-----------------|-------------|
| 戦略分類 | 2. 若者仕事 | | |
| 取組の方向 | ワンストップ起業支援とブランド力の向上 | | |
| 戦略事業名 | ④起業促進支援事業 | | |
| 予算事業名 | 起業促進支援事業 | | |
| 令和5年度実績額(円) | 37,429,063円 | 令和6年度予算額(6月補正後) | 25,214,000円 |

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---------|---|--|---|
| 事業概要・実績 | <p>新規創業を推奨することにより、商工業の活性化を図り、減少傾向を辿る町内事業者数の確保を図るとともに、I・J・Uターンの契機を創出する。</p> <p>町内において創業を希望する方に対し、創業時の負担を軽減するため、初期投資等に係る費用の2/3(上限5,000千円)を助成する。</p> <p>・新規創業 2件(美容業) 実績額 10,000千円(補助金のみ)</p> | <p>新規創業を推奨することにより、商工業の活性化を図り、減少傾向を辿る町内事業者数の確保を図るとともに、I・J・Uターンの契機を創出する。</p> <p>町内において創業を希望する方に対し、創業時の負担を軽減するため、初期投資等に係る費用の2/3(上限5,000千円)を助成する。</p> <p>・新規創業 0件 実績額 0円</p> | <p>新規創業を推奨することにより、商工業の活性化を図り、減少傾向を辿る町内事業者数の確保を図るとともに、I・J・Uターンの契機を創出する。</p> <p>町内において創業を希望する方に対し、創業時の負担を軽減するため、初期投資等に係る費用の2/3(上限5,000千円)を助成する。</p> <p>・新規創業 1件(飲食業) 実績額 5,000千円(補助金のみ)</p> |
| | 令和5年度 | 令和6年度(予定している内容) | |
| | <p>新規創業を推奨することにより、商工業の活性化を図り、減少傾向を辿る町内事業者数の確保を図るとともに、I・J・Uターンの契機を創出する。</p> <p>町内において創業を希望する方に対し、創業時の負担を軽減するため、初期投資等に係る費用の2/3(上限5,000千円)を助成する。</p> <p>・新規創業 9件(飲食業5件、水道業1件、美容関係2件、ダンススタジオ1件) 実績額 37,191千円(補助金のみ)</p> | <p>新規創業を推奨することにより、商工業の活性化を図り、減少傾向を辿る町内事業者数の確保を図るとともに、I・J・Uターンの契機を創出する。</p> <p>町内において創業を希望する方に対し、創業時の負担を軽減するため、初期投資等に係る費用の2/3(上限5,000千円)を助成する。</p> <p>令和5年度から、年度内に2回(上期・下期)申請期間を設け、起業しやすい環境とした。</p> | |



こだわりの一杯を



地元を元気にするラーメン屋です

グランドオープン

RAMEN




ラーメン店 八ベ

所在地 おおい町大島119-17-1
営業時間 11:00~14:00 18:00~21:00
電話番号 090-8969-4899

7/11

11:00~

| 評 価 (Check) | | | | | | |
|--|--|-------|---|--------|--------|------------|
| 成果を測る指標 (KPI・数値目標) | 起業件数(事業活用による累積) | | ⇒ | 現 状 | | KPI達成率 (%) |
| | 基準値 (平成30年度) | 累計8件 | | 令和5年度末 | 累計24件 | 80.0% |
| | 目標値 (令和6年度末) | 累計30件 | | | | |
| ① 数値目標達成状況 | | | | | おおむね達成 | |
| 達成状況の要因分析 | <p>令和2年度から「おい町起業促進支援事業補助金」として、一次創業向け制度としてスタートし、令和4年度は2件の申請で、審査の結果1件であった。 令和2年度以降、専門家による客観的な審査会により採択の可否を決定しており、令和2年度は申請2件に対し採択は2件、令和3年度は申請1件に対し採択は0件、令和4年度は申請2件に対し採択1件、令和5年度は申請10件に対し9件となった。</p> | | | | | |
| ② 事業成果 | | | | | | |
| 令和5年度の成果・課題 | <p>令和5年度から、年度内に2回(上期・下期)申請期間を設け、起業しやすい環境とした結果、例年以上の申請があった。 起業の業種が多様化しており、必要に応じて要綱等の見直しを行う。</p> | | | | | |
| 戦略期間全体を通しての成果・課題 | <p>起業を応援する町として、創業時に必要な資金への補助も手厚く行っていることから、おおむね目標を達成することができた。 起業後の継続性については、しっかりと追跡調査を行い検証していくことが重要である。</p> | | | | | |
| ③ 令和7年度以降の事業継続予定 | | | | | 継続予定あり | |
| (継続予定ありの場合)今後の方針 | <p>引き続き、起業を応援する町として、創業しやすい環境を整備し、時代に合った支援を行う。</p> | | | | | |
| ④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価) | | | | | | |
| <p>・起業希望者からの要望により、令和5年度から年度内に2回(上期・下期)申請期間を設けたことは、住民ニーズに機敏に応える対応として評価でき、実際に起業件数の大幅増につながった。 ・事業継続を検討するに当たっては、起業後の経営状況を継続的に調査して成功・失敗要因を分析するなど、成功率を高めて地域発展に繋げる方策の検討が必要である。</p> | | | | | | |

| 外部評価の結果 |
|---------|
| 意見等なし |

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

| | | | |
|-------------|--|---|--|
| 整理番号 | 2-⑤ | 課名 | しごと創生室 |
| 戦略分類 | 2. 若者仕事 | | |
| 取組の方向 | ワンストップ起業支援とブランド力の向上 | | |
| 戦略事業名 | ⑤チャレンジショップ整備事業 | | |
| 予算事業名 | チャレンジショップ整備事業 | | |
| 令和5年度実績額(円) | 84,349,507円 | 令和6年度予算額(6月補正後) | 31,927,000円 |
| 事業概要・実績 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計業務(R元年度から繰越) 21,236,300円 ・チャレンジショップ棟整備工事 (R2年度へ一部繰越) 50,000,000円 ・〃 施工監理委託料 9,109,000円 ・地中熱利用設備整備工事(その1) 114,851,000円 ・〃 施工監理委託料 3,520,000円 ・指定管理委託料 20,000,000円 | <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップ棟整備工事 (R2年度から繰越) 811,850,000円 ・〃 施工監理委託料 9,376,000円 ・地中熱利用設備整備工事(その2) 28,152,000円(一部 R4年度へ繰越) ・複合商業施設周辺整備工事 85,140,000円(一部 R4年度へ繰越) ・施設備品購入費 27,319,930円(一部 R4年度へ繰越) ・指定管理委託料 19,998,000円 ・オープニングイベント開催委託料(R3年度分)2,600,000円 ・サイン製作設置委託料 4,722,300円 | <ul style="list-style-type: none"> ・地中熱利用設備整備工事(その2)(R3年度から繰越) 42,228,200円 ・〃 施工監理委託料(R3年度から繰越) 4,796,000円 ・複合商業施設周辺整備工事(R3年度から繰越) 126,749,000円 ・〃 施工監理委託料(R3年度から繰越) 1,760,000円 ・チャレンジショップ魅力向上システム構築業務 60,000,000円 ・太陽光発電設備整備に伴う実施設計業務 8,393,000円 ・指定管理委託料 22,000,000円 ・オープニングイベント開催委託料(R4年度分)6,090,000円 |
| | 令和5年度 | 令和6年度(予定している内容) | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・SEE SEA PARK太陽光発電設備整備工事 38,478,000円(一部 R6年度へ繰越) ・〃 施工監理委託料 2,029,000円(一部 R6年度へ繰越) ・オープン1周年記念イベント開催委託料 10,598,000円 ・指定管理委託料 22,715,000円 ・備品購入 2,301,420円 ・SEE SEA PARK植栽工事 2,915,000円 | <ul style="list-style-type: none"> ・SEE SEA PARK太陽光発電設備整備工事 57,717,000円(R5年度から繰越) ・〃 施工監理委託料 4,736,000円(R5年度から繰越) ・SEE SEA PARK植栽工事(その2) 1,500,000円 ・SEE SEA PARK賑わい創出イベント開催委託料 4,930,000円 ・指定管理委託料 23,300,000円 | |
| |  | |  |
| 一周年イベント状況 | | SEE SEA PARK植栽工事 | |

| 評 価 (Check) | | | | | | |
|--|---|-------|---|--------|--------|------------|
| 成果を測る指標 (KPI・数値目標) | 起業件数(事業活用による累積) | | ⇒ | 現 状 | | KPI達成率 (%) |
| | 基準値 (平成30年度) | 累計8件 | | 令和5年度末 | 24件 | 80.0% |
| | 目標値 (令和6年度末) | 累計30件 | | | | |
| ① 数値目標達成状況 | | | | | おおむね達成 | |
| 達成状況の要因分析 | <p>令和2～4年度の起業件数はコロナ禍等の影響により各1件に留まっており、目標の年平均3.7件には達していない状況であるが、令和5年度の利用件数は9件と伸びており、また、本施設の稼働により、起業を望む者へチャレンジの場が提供できたことから、今以上の起業促進が図れる。今後のチャレンジャー卒業生についても当該事業活用が見込める。</p> | | | | | |
| ② 事業成果 | | | | | | |
| 令和5年度の成果・課題 | <p>令和5年度においては、チャレンジャー3人が卒業し、新たに2人が入居することとなった。(残り1区画は令和6年6月に入居) 3人の卒業生については、1人は起業促進支援事業補助金を活用して開業された。残りの2人についても、チャレンジ区画出店の目的は果たせたとの意見をいただいている。 1周年記念イベントや冬の賑わい創出イベントの開催により、SEE SEA PARKへの入込数は令和5年度で349,029人となっている。</p> | | | | | |
| 戦略期間全体を通しての成果・課題 | <p>起業を応援する町として、前段階のお試しショップの位置づけで整備したチャレンジショップであるが、成果指標である起業促進支援事業補助金活用に繋がっており、おおむね目標を達成することができた。 チャレンジ区画卒業生への伴走については、より確度の高い独立に向けてしっかりとフォローしていくことが重要である。</p> | | | | | |
| ③ 令和7年度以降の事業継続予定 | | | | | 継続予定あり | |
| (継続予定ありの場合) 今後の方針 | <p>引き続き、起業を応援する町として、創業しやすい環境を整備し、時代に合った支援を行う。また、町の玄関口であるうみんぴあ大飯エリアの更なる賑わいづくりに寄与していく。</p> | | | | | |
| ④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価) | | | | | | |
| <p>・チャレンジショップ卒業生の一部が、起業促進支援事業補助金を活用して実際に開業したことは、起業支援制度が一体として機能しているものとして評価できる。 ・事業継続を検討するに当たっては、起業に至らなかった場合のチャレンジャーの原因分析や、チャレンジ期間中における卒業後を見据えたサポートなど、チャレンジ後の起業率を高める方策の検討が必要である。</p> | | | | | | |

| 外部評価の結果 |
|---------|
| 意見等なし |

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

| | | | |
|------|-----|-----|-------|
| 整理番号 | 2-⑥ | 課 名 | 商工観光課 |
|------|-----|-----|-------|

| | | | |
|-------------|----------------------------|-----------------|------------|
| 戦略分類 | 2. 若者仕事 | | |
| 取組の方向 | ワンストップ起業支援とブランド力の向上 | | |
| 戦略事業名 | ⑥道の駅うみんぴあ大飯賑わい創出・ブランド力推進事業 | | |
| 予算事業名 | うみんぴあ大飯事業(イベント委託) | | |
| 令和5年度実績額(円) | 5,376,000円 | 令和6年度予算額(6月補正後) | 5,000,000円 |

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---------|---|---|--|
| 事業概要・実績 | <p>道の駅うみんぴあ大飯において、賑わい創出イベントを開催し、町の特産品等を広くPRすることによって本町の認知度の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅うみんぴあ大飯年間来館者数 201,596人 賑わい創出イベント開催状況 <ul style="list-style-type: none"> 海鮮焼き物市等2,714人 秋の大感謝祭1,497人 きのご祭り2,285人 いちご祭り1,521人 | <p>道の駅うみんぴあ大飯において、賑わい創出イベントを開催し、町の特産品等を広くPRすることによって本町の認知度の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅うみんぴあ大飯年間来館者数 224,880人 賑わい創出イベント開催状況 <ul style="list-style-type: none"> おいのおさかなまつり1,173人 海鮮焼き物市&野菜試食4,284人 きのご祭り2,206人 カニ祭り1,527人 いちご祭り1,540人 | <p>道の駅うみんぴあ大飯において、賑わい創出イベントを開催し、町の特産品等を広くPRすることによって本町の認知度の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅うみんぴあ大飯年間来館者数 272,027人 賑わい創出イベント開催状況 <ul style="list-style-type: none"> おいのおさかなまつり1,500人 梅まつり1,752人 海鮮焼き物市&野菜試食6,436人 新米まつり2,727人 きのご祭り1,905人 カニ祭り2,124人 歳末大感謝祭2,225人 新春イベント1,232人 春のうみんぴあ祭り1,624人 |
| | 令和5年度 | 令和6年度(予定している内容) | |
| | <p>道の駅うみんぴあ大飯において、賑わい創出イベントを開催し、町の特産品等を広くPRすることによって本町の認知度の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅うみんぴあ大飯年間来館者数 287,959人 賑わい創出イベント開催状況 <ul style="list-style-type: none"> おいのおさかなまつり1,663人 梅まつり1,877人 海鮮焼き物市&野菜試食会2,342人 新米まつり2,244人 きのご祭り1,735人 カニ祭り1,957人 歳末大感謝祭1,917人 新春イベント698人 春のうみんぴあ祭り1,671人 | <p>道の駅うみんぴあ大飯において、賑わい創出イベントを開催し、町の特産品等を広くPRすることによって本町の認知度の向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 賑わい創出イベント <ul style="list-style-type: none"> おい梅まつり 海鮮焼き物市等 秋の大感謝祭 きのご祭り カニ祭り など | |



| 評 価 (Check) | | | | | | |
|--|---|--------------|---|--------|-------------|------------|
| 成果を測る指標 (KPI・数値目標) | 売上額 | | ⇒ | 現 状 | | KPI達成率 (%) |
| | 基準値 (平成30年度) | 年間 182,591千円 | | 令和5年度末 | 年間204,944千円 | 102.5% |
| | 目標値 (令和6年度末) | 年間 200,000千円 | | | | |
| ① 数値目標達成状況 | | | | | 達成 | |
| 達成状況の要因分析 | スケートパーク等のスポーツレクリエーション施設、SEE SEA PARK等の施設がオープンしたことでにぎわいが増し、道の駅出荷者と連携によるイベント開催効果もあり、入館者数・売上高ともに前年度を上回った。 | | | | | |
| ② 事業成果 | | | | | | |
| 令和5年度の成果・課題 | デジタルサイネージや電動キックボードなど、エリア内の施設間で連携を図り周遊してもらえる取り組みを行い、入館者数・売上高ともに前年度を上回る成果となった。 一方で、港湾道路の乱横断に伴う安全対策やサインによる誘導、歩行者天国を実施した際の警備等は課題である。 | | | | | |
| 戦略期間全体を通しての成果・課題 | コロナの影響により、一時的に入館者や売上も減少した時期があったが、定期的なイベントの開催を継続したことや、周辺環境の整備もあり、目標を達成することができた。 町内主要観光施設にデジタルサイネージの設置を計画的に進めており、町内施設の周遊や連携、情報発信を行ったほか、電動キックボードの導入などによりエリア内の周遊性を図った。 | | | | | |
| ③ 令和7年度以降の事業継続予定 | | | | | 継続予定あり | |
| (継続予定ありの場合) 今後の方針 | 今後も、出荷者との連携を深め、内容やPR方法をさらに工夫し、継続してイベントを開催していくことで、リピーターの確保と近隣地域からの集客に努めるとともに、積極的な情報発信やエリア内で連携し新たな観光入込客数の増加に努める。 | | | | | |
| ④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価) | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・R5年度の売上額は過去最高となり、来館者数もコロナ禍後最多となるなど、イベントの認知度や顧客のリピート率が着実に向上していると評価できる。 ・事業継続を検討するに当たっては、イベント実施時の各施設同士の緊密な連携、分かりやすい誘導サイン導入や万全の安全対策など、集客力やエリアのブランド価値をさらに高めていく方策の検討が必要である。 | | | | | | |

| 外部評価の結果 |
|---------|
| 意見等なし |

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

| | | | |
|------|-----|----|--------|
| 整理番号 | 2-⑦ | 課名 | しごと創生室 |
|------|-----|----|--------|

| | | | |
|-------------|----------------|-----------------|--------------|
| 戦略分類 | 2. 若者仕事 | | |
| 取組の方向 | 本町の特徴を活かした企業誘致 | | |
| 戦略事業名 | ⑦産業団地造成事業 | | |
| 予算事業名 | 企業振興対策事業 | | |
| 令和5年度実績額(円) | 1,276,069,263円 | 令和6年度予算額(6月補正後) | 862,991,000円 |

| 事業概要・実績 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---------|---|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> 産業団地造成工事(R2年度支払分) 21,650,000円 産業団地造成工事施工監理業務(R2年度支払分) 1,090,000円 企業立地助成金(3社) 7,932,688円 | <ul style="list-style-type: none"> 産業団地造成工事(R3年度支払分) 265,810,000円 産業団地造成工事施工監理業務(R3年度支払分) 9,070,000円 電気設備移転補償金(4社) 14,922,440円 企業立地助成金(3社) 7,864,831円 | <ul style="list-style-type: none"> 産業団地造成工事(R4年度支払分) 210,290,000円 産業団地造成工事施工監理業務(R4年度支払分) 7,330,000円 確定用地測量及び分筆登記業務 9,016,700円 企業立地助成金(3社) 6,729,261円 |
| | 令和5年度 | 令和6年度(予定している内容) | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 産業団地用地清掃業務 5,555,000円 企業立地助成金(1社:山村JR貨物きらベジステーション(株)) 313,879,000円 植物工場立地促進事業補助金(2社:山村JR貨物きらベジステーション(株)、(株)タガヤス) 952,150,000円 | <ul style="list-style-type: none"> 産業団地用地清掃業務 7,300,000円 企業立地動向調査業務 4,963,000円 企業立地助成金(2社:山村JR貨物きらベジステーション(株)、(株)タガヤス) 327,492,000円 植物工場立地促進事業補助金(2社:山村JR貨物きらベジステーション(株)、(株)タガヤス) 518,784,000円 | |
| |  | | |

分譲区画

- ①: 11,659㎡
- ②: 5,161㎡
- ③: 5,096㎡
- ④: 10,102㎡

| 評 価 (Check) | | | | | | |
|---|--|------|---|--------|--------|------------|
| 成果を測る指標 (KPI・数値目標) | 利用企業数 | | ⇒ | 現 状 | | KPI達成率 (%) |
| | 基準値 (平成30年度) | 累計0件 | | 令和5年度末 | 0件 | 0.0% |
| | 目標値 (令和6年度末) | 累計4件 | | | | |
| ① 数値目標達成状況 | | | | | 未達成 | |
| 達成状況の要因分析 | うみんぴあ大飯等への企業誘致に加え、多様な企業の進出を促し、雇用の場の確保を図るため取り組む事業であり、令和5年度においては、産業団地整備工事が完了し、分譲を開始した。新聞・雑誌や県企業立地セミナー等において産業団地のPRに努めた。産業団地への引き合いは実際に担当課へ事業計画の説明に来庁するなどの企業は複数社あるが、町としてUIターンに資する企業の選定も重要であり、慎重に対応している。 | | | | | |
| ② 事業成果 | | | | | | |
| 令和5年度の成果・課題 | 令和5年度では、産業団地の分譲が開始となり、新聞・雑誌、チラシ・パンフレット、企業立地フェアやセミナーへの参加等で県や関係機関の支援を得ながら産業団地のPRに努めた。興味を持っていただいた企業からの訪問や電話へに対応しつつ、一方で優遇制度の見直しを行い、町が進めるUIターンに資する企業の誘致を進めている。 | | | | | |
| 戦略期間全体を通しての成果・課題 | 産業団地整備は、工事に使用する土砂を別工事で発生する土砂を有効活用するため、当初の見込みから若干ずれ込んだが、無事令和4年度末に完成することが出来た。令和5年度4月から分譲を開始しているが、町の進めるUIターンに資する企業とのマッチングが重要であり、そのような企業を慎重に見極めなければならない。 | | | | | |
| ③ 令和7年度以降の事業継続予定 | | | | | 継続予定あり | |
| (継続予定ありの場合) 今後の方針 | 電気料金が低廉である等の町の特色を生かし、UIターンに資する企業を産業団地へ誘致していく。 | | | | | |
| ④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価) | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・誘致に至った企業はまだないものの、複数の企業が興味を持って来町するなど、現在実施しているPR等について一定の効果はみられる。 ・事業継続を検討するに当たっては、優遇制度の見直し等、町が求めるUIターンに資する企業の誘致に繋がる方策を検討し、早期の誘致実現を図ることが必要である。 | | | | | | |

| 外部評価の結果 |
|---|
| <p>(委員) 複数の企業が興味を持って来町しているものの誘致に至っていないのは、町側が企業とマッチしないのか、それとも企業側の条件が合わないのか。町としてどのような企業に来てほしいという要望はあるのか。</p> <p>(町回答) 目標値の4区画の内、1区画は誘致企業が決まった。その他何社かと条件のやりとりをしている状況である。人口減少に歯止めをかけ、若者のUIターンを促進するという町の目標があり、高校まで町内にいた子どもは県外の大学等に行ってしまうので、卒業後、就職で戻って来ようと思うような企業に来てもらいたい。また、雇用人数も重要となる。おい町は電気料金が全国トップクラスで安いという売りがあるので、電気を多く使う製造業等が町の希望である。</p> <p>(委員) 企業が入ったとしても、倉庫なら雇用人数は少なくなるので、本来の数値目標とは別に雇用人数をサブ目標に付け加えてはどうか。</p> |

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

| | | | |
|------|-----|-----|-------|
| 整理番号 | 2-⑧ | 課 名 | 商工観光課 |
|------|-----|-----|-------|

| | | | |
|-------------|---------------------|-----------------|------------|
| 戦略分類 | 2. 若者仕事 | | |
| 取組の方向 | ワンストップ起業支援とブランド力の向上 | | |
| 戦略事業名 | ⑧名田庄トレイルコーディネイト事業 | | |
| 予算事業名 | 登山道維持管理事業 | | |
| 令和5年度実績額(円) | 10,670,000円 | 令和6年度予算額(6月補正後) | 3,080,000円 |

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---------|---|---|---|
| 事業概要・実績 | \ | <p>名田庄地域を周回する約100kmのロングトレイルルートを令和3年度から3年間で整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名田庄トレイル整備コーディネイト業務実績 調査: 22ルート(109. 22km) 整備計画: 6ルート(47. 3km) ・旅をキーワードに、自分らしいアウトドアの楽しみを探す人に向けた専門誌「ランドネ」に特集記事掲載。 | <p>名田庄地域を周回する約100kmのロングトレイルルートを令和3年度から3年間で整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名田庄トレイル整備コーディネイト業務実績 調査: 19ルート(103. 0km) 整備計画: 4ルート(42. 3km) ・トレイルハイクを6回実施し延べ60人の参加者。 ・新聞、ラジオ、テレビ、広報紙等により広く周知を行った。 |
| | 令和5年度 | 令和6年度(予定している内容) | |
| | <p>名田庄地域を周回する約100kmのロングトレイルルートを令和3年度から3年間で整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名田庄トレイル整備コーディネイト業務実績 調査: 10ルート(82. 9km) ・名田庄トレイルマップの作成 ・ナタショウトレイルランニングレース2023を開催し134人の出走と、レースコースの体験ハイキングを7回実施し延べ74人の参加者。 ・ナタショウトレイルランニングレースの開催により、SNSや新聞、テレビ等に取り上げられ、広く周知された。 | <p>令和5年度に作成したトレイルマップを活用し、トレイルガイド育成のためのプログラムを実施する。 令和5年度に初めて開催したナタショウトレイルランニングレースは、実行委員会への支援を継続する。</p> | |



| 評 価 (Check) | | | | | | |
|--|--|----------|---|--------|----------|------------|
| 成果を測る指標 (KPI・数値目標) | ビジターセンター売上額 | | ⇒ | 現 状 | | KPI達成率 (%) |
| | 基準値 (平成30年度) | 80,849千円 | | 令和5年度末 | 66,331千円 | 79.5% |
| | 目標値 (令和6年度末) | 83,449千円 | | | | |
| ① 数値目標達成状況 | | | | | おおむね達成 | |
| 達成状況の要因分析 | <p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、コロナ前の状況に戻りつつある中、令和5年度においては、数値目標であるビジターセンター(八ヶ峰家族旅行村・頭巾山青少年旅行村)売上額が、前年度実績の63,546千円から104,449千円(164.4%増)増加(八ヶ峰家族旅行村103.5%増、頭巾山青少年旅行村104.5%増)し66,331千円となったが、目標の達成には至らなかった。</p> | | | | | |
| ② 事業成果 | | | | | | |
| 令和5年度の成果・課題 | <p>地元有志から、名田庄トレイルを活用した「ナタショウトレイルランニングレース2023」の開催を要望する声が挙がり、レースの開催により名田庄トレイル全体を周知することができた。レースを開催する実行委員会が設立された一方で、名田庄トレイル全体を管理する組織の設立が課題である。</p> | | | | | |
| 戦略期間全体を通しての成果・課題 | <p>「ナタショウトレイルランニングレース」が開催されるなど、民間と行政の連携により、名田庄トレイルをコンテンツとして周知することができた。今後、名田庄トレイルの整備に係る経費や管理運営する組織の育成が課題である。</p> | | | | | |
| ③ 令和7年度以降の事業継続予定 | | | | | 継続予定あり | |
| (継続予定ありの場合) 今後の方針 | <p>「ナタショウトレイルランニングレース」は実行委員会が主催(町は共催)で開催し、ランナーの参加費で実施できるよう自立に向けて補助を行う。レースの実行委員会が中心となり、名田庄トレイルの管理運営が行えるよう支援を行う。</p> | | | | | |
| ④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価) | | | | | | |
| <p>・R5年度に初めて開催した「ナタショウトレイルランニングレース」に定員を超える応募があり、ビジターセンターの売上額も目標額をおおむね達成するなど、事業は一定の成果を挙げたと評価できる</p> <p>・事業継続を検討するに当たっては、地元民間組織が事業を自立的・持続的に管理運営し、地域活性化に結び付けていくための支援について検討が必要である。</p> | | | | | | |
| 外部評価の結果 | | | | | | |
| 意見等なし | | | | | | |